



味間小だより

丹波篠山市立味間小学校

令和4年7月20日発行



体験を通じて学ぶ



1学期が終わりを迎えました。この1学期間はどの学年においても、それぞれの学習の中で課題解決に向けて主体的に取り組む様子が随所で見られました。友だちの意見にしっかり耳を傾け、自分の考えと比べながら対話を通して学びを深めることができました。



子どもたちが楽しみにしている夏休みの到来です。子どもたちが自分でやってみたいと思うことに思いっきり取り組むことのできる夏休みです。保護者や地域の方々は、子どもたちと「何に興味があるか」「何にチャレンジしたいか」「どんなことができるか」を共有して一緒に楽しんでいただきたいと思います。

生涯学習社会ということばがあります。学習は子どもの時期だけでなく、生涯にわたって学び続けることが重要です。仕事として研究などの学びを続けておられる方だけでなく、社会のなかでそれぞれの職種で常に多くの方が学びを深められています。スポーツの選手は体の仕組みや動かし方を常に勉強されています。また、社会教育施設やコミュニティセンター等の事業に積極的に参加されている方もあります。高齢者大学に通われ学びを深めておられる方もあります。

子どもたちにとって大切なことは、興味を持ったことにいろいろ挑戦してみることです。夏休み中は、いろいろな施設でいろいろな体験ができます。出かけなくても、家の周りに自然や活動場所がたくさんあります。また、調べてみたいことは図書館やインターネットで調べることもできます。おじいちゃんやおばあちゃんにいろいろな話を聞くこともできます。大人の方には、是非子どもたちと一緒に「新たなチャレンジ」を楽しみ、学ぶ楽しさをたくさん感じる夏休みにしていただければと思います。

夏休みを迎えるにあたって

子どもたちが楽しみにしている夏休みです。夏休みは、子どもたちの生活の場が家庭や地域中心となります。日頃の学校生活では得られない活動や体験ができるようお力添えいただければ幸いです。また、家族のふれあいを深め、心の絆をいっそう強くしていただき、子どもたちにとって有意義な生活が送れますようお願いいたします。

なお、学校では夏休みを迎えるにあたって、「夏休みのくらし」を作成して発達段階に応じた指導をしています。ご家庭でも約束事などを決めていただき、安全で楽しい、有意義な夏休みになりますよう、ご指導をお願いいたします。

